

# 創業チーム内のジェンダーエクイティギャップ

高橋秀徳

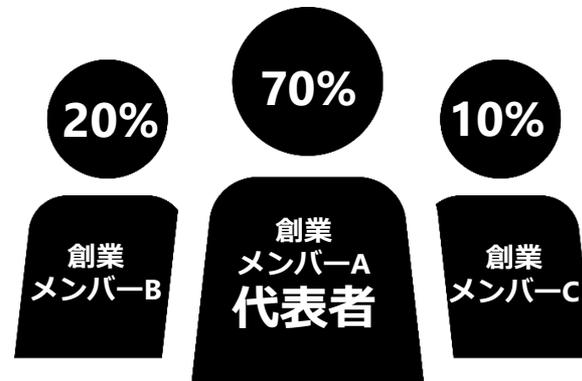
神戸大学経済経営研究所

2025年5月30日 (金) @Zoom

文部科学省と国立大学附置研究所・センター 個別定例ランチミーティング

# 本研究の問い

- スタートアップの創業チームにおいて、どのような要因が株式分割比率に影響をあたえるのか？（株式分割比率の決定要因）



# 本研究の位置づけと重要性

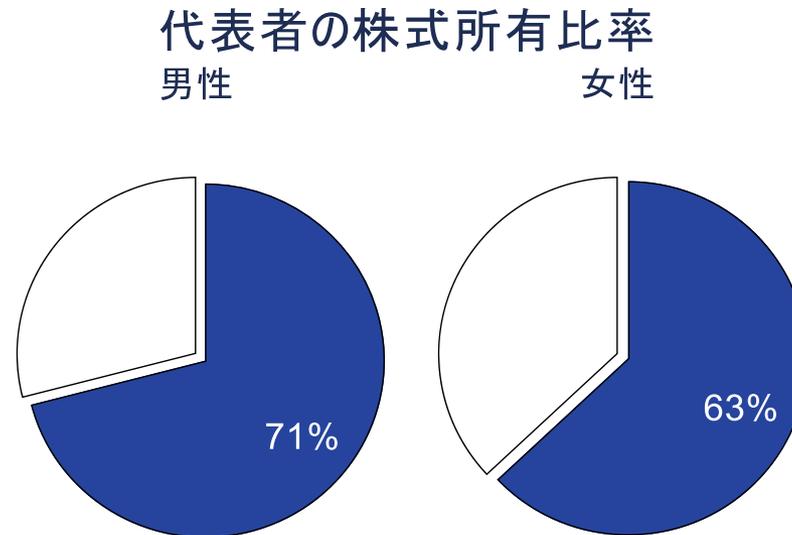
- 本研究は創業者の特性—とくに、ジェンダー—に焦点を当てる。
- 既存研究は、もっぱら外部資金調達におけるジェンダーギャップが対象。スタートアップ内部（創業チーム）のジェンダーギャップの研究はない。
  - 創業チームの研究は存在するが、株式（エクイティ）の問題をみつかっていない。
- 創業者にとって株式分割は重要な問題
  - 創業者の金銭的モチベーションは給与ではなく、株式価値の上昇
  - 創業チームが直面する最初の交渉であり、火種
    - “ファウンダーはエクイティの分割をめぐる交渉に対して、「戦争」や「腹立たしい」「ストレスフル」といった表現を使うことが多い”（ワッサーマン 2014）

## 困難とその対処法

- 分析上の困難：株主構成表は開示されていないため、創業者の株式所有比率および創業チーム内での株式分割比率がわからない。
- 「日本の新規開業企業に関する実態調査」（2021）を実施し、データを収集
- サンプル：条件(\*)をみたす400（うち女性46）社のスタートアップ
  - \* 創業チームであること、既存企業の子会社・関連会社でないこと、現在の代表者が創業時の代表者と同じであること など

## 明らかにしたこと

- 女性の株式所有比率は、男性より平均的に8%ポイント低い。



- 創業メンバーの特徴（職務・創業経験、学歴・専攻、年齢等）およびスタートアップの特徴（業種、年齢・規模、成長性等）を同じにするとその差は**12%ポイント**に ← **ジェンダーエクイティギャップ**！

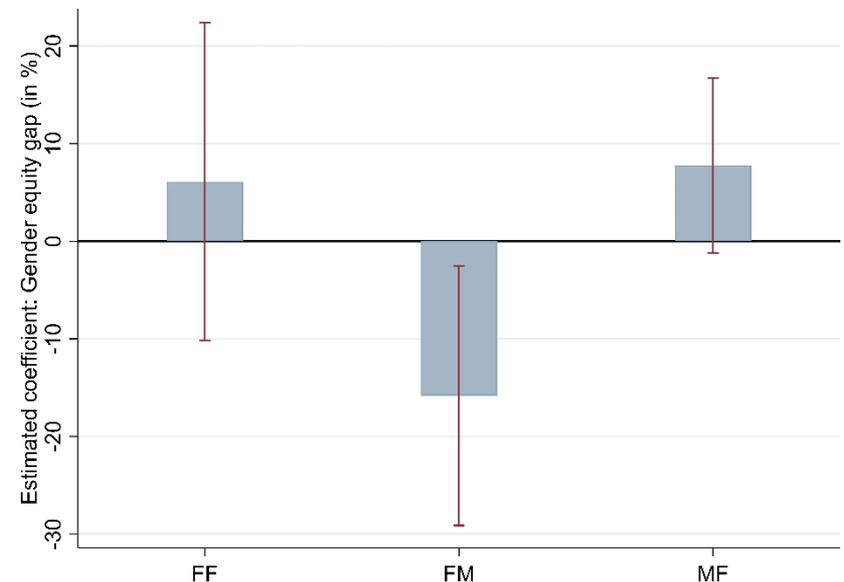
# 男性とチームを組むときにギャップは生じる

- チーム分類：

		代表者以外の 創業メンバーの性別	
		女性 (F)	男性 (M)
代表者の性別	女性 (F)	FFチーム	FMチーム
	男性 (M)	MFチーム	MMチーム

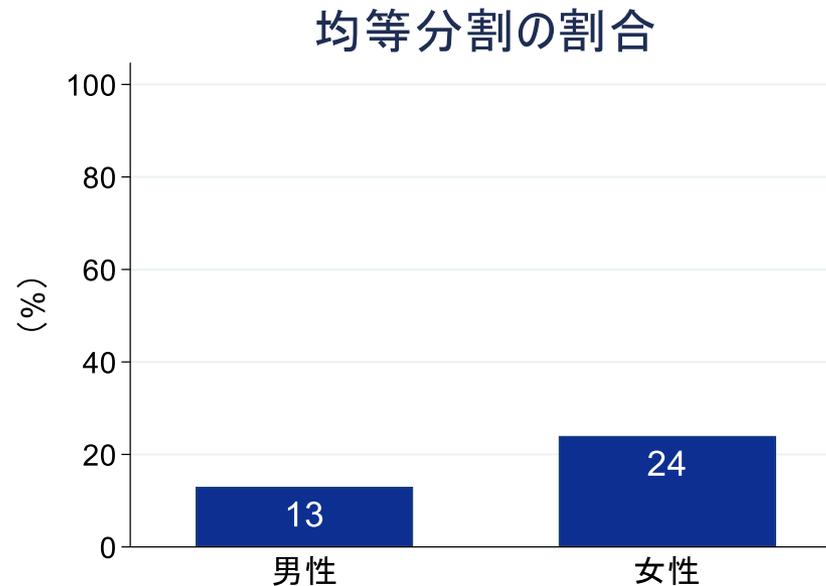
注: 代表者以外の創業メンバーに女性と男性の両方を含むチームも存在するが、ここでは省略。

- MMチームの代表者と比較し、FMチームの代表者の株式所有比率は16%ポイント低い。
  - FFチームでギャップはみられない。



# ギャップの要因—公平性 (fairness)

- 女性は男性よりも公平な分割 (= 均等分割) をする傾向がある。
  - 60 : 40 よりも 50 : 50 の分割を、40 : 30 : 30 よりも 33 : 33 : 33 の分割を好む。



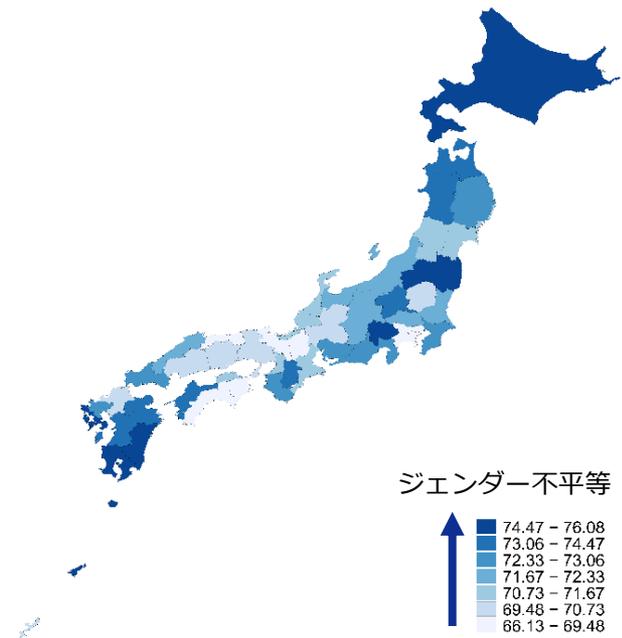
# ギャップの要因—ジェンダーにたいする規範 (gender norms)

## 1. 創業チームの平均年齢：高 vs. 低

- 平均年齢が高いチームでギャップ大 (28%ポイント)
- 平均年齢が低いチームではギャップはみられない。

## 2. 設立地域：ジェンダー平等地域 vs. 不平等地域

- ジェンダー不平等地域のスタートアップでギャップ大 (30%ポイント)
- ジェンダー平等地域のスタートアップではギャップはみられない。



# より良い世界をめざして

- 株式所有比率に男女間で有意な差があるという事実（ジェンダーエクイティギャップの存在）を知ることが大事。
  - 株式所有比率の差は将来大きな富の差になる可能性
- そのうえで創業者はそれぞれのスタートアップの合理性をもとに株式分割比率を決定する必要がある。
  - 所有比率を保持することよりも、企業価値を大きくすることのほうが大事。
    - 例：企業価値10億×所有比率50% or 企業価値20億×所有比率40%

ご清聴ありがとうございました



Journal of Banking & Finance

Volume 168, November 2024, 107272



## The gender gap in the first deal: Equity split among founding teams

Hidenori Takahashi <sup>a</sup> ✉, Yuji Honjo <sup>b,c</sup>, Masatoshi Kato <sup>d</sup>

本研究の詳細については、論文をご参照ください→ <https://doi.org/10.1016/j.jbankfin.2024.107272>